大同工大への期待

南区のまちづくりに大同工大ならではの大胆な発想と提案を。

ご挨拶したときいただいた名刺には、「名古屋市南区役所　まちづくり推進部　主幹」とある。文字通り南区のまちづくり推進事業の中心人物である。インタビューに移ると、光田主幹の柔らかな表情がスッと引き締まった。

名古屋市南区役所 まちづくり推進部
主幹　光田 清美 氏

今『南区特色ある区づくり推進事業』に取り組んでいます。

「私がこの仕事に取り組み始めたのは昨年4月からでして、関わっている期間は短いのですが、南区の特長を生かしたまちづくりを着実に進めていきたいのです」と、意気込みを静かに語る。

「特色ある区づくり推進事業」は、1999年に名古屋市が策定した「名古屋新世紀計画2010」に遡る。それをうけて2000年名古屋市の16区で、地元に誇りを持てるまちづくりを目指す「まちづくり推進部」が設立され、それぞれの区の個性や環境を生かした区つくり事業が始まったというわけ。

南区では、『区つくり推進事業』を、3本の柱で進めています。

①「香りと色彩ゆたかなまちづくり」
南区に快適空間をつくろうと、区内随所に地元企業（大同特殊鋼星崎工場・三井化学名古屋工場）や地元の小学校等、地域でハーブを植えてもらっている。

②「世代を越えた地域文化の継承」
南区内の史跡保存と熱田神楽など地元伝統芸能の保存および継承を推進する。

③「ものづくりのまち魅力発信」
名古屋市内で製造業が多い南区を、「ものづくりのまち」としてブランド化し、地域の活性化を進めつつ、ものづくりの素晴らしさを、子どもをはじめとした多くの人に伝えていく。

3番の『ものづくりのまち魅力発信事業』にこそ大同工大さんにご協力いただきたいのです。

「南区にあって南区の現状をよくご存知で、有能で豊かな専門知識をお持ちの先生方がいらっしゃる大同工大さんだからこそできる実質的提案・アイデアの提供をお願いしたいのです。大同工大さんはものづくりがお手のもの。すでに何人かの先生方といろいろな取り組みや研究会が始まっています。そこから生まれた企画を区民祭りのイベントに仕上げてもいいし、マスコミへのニュースリリースも共同して進めることもできます」と、本学DITと南区とが協力して様々な取り組みを展開することの期待を熱く語る。

大同工大は、ハードな男子ばかりの大学と思っていましたが、

「実際には男子学生だけでなく女子学生も結構目について、認識が新たになりました。ただ大同町は大学が近くにあるというイメージが少ないのが残念です」とは、DITについての正直な印象だとか。「先生方の研究や学生さんの卒業研究のためのどこに何があるかの問い合わせにも南区は対応できると思います」とエールもいただいた。

3本柱の事業で南区を人が集まる区にしたい

これが光田主幹の大仕事である。名古屋市の人口がこのところ増える方向に転じたのに、南区の人口は今も少しずつ減りつづけている。最近は工場の区外移転や少子高齢化により、事業を進める上で若年層の参加が進まないのも事実のようだ。しかし「南区に人が帰ってくる、集まってくるような『区づくり』を皆さんと一緒に粘り強く進めたい」と、力強い一言でインタビューを終えた。

（2003年6月18日／南区役所会議室でのインタビューをもとに構成）

受託研究

三重県美杉村からの受託研究『美杉村公営・若者住宅建設基本構想の策定』に、3人の先生が。

工学部都市環境デザイン学科
嶋田喜昭 講師

三重県美杉村から依頼された受託研究に、工学部都市環境デザイン学科の舟渡教授、嶋田講師、同建築学科の笠嶋教授が取り組んでいる。このたび嶋田先生から途中経経過が届いたので紹介します。

美杉村は、三重県の中勢西端の奈良県との県境に位置し、周囲を山に囲まれた狭隘の谷筋に集落が点在する人口7,000人程の典型的な過疎高齢地域。「美杉リゾート」のCMでお馴染みの火の谷温泉がある所と言うと、お分かりになる方もおられよう。村名のごとく杉の産地であるが、「吉野杉」ほどはブランド化されていない。そこは本当に杉の山並みが美しく、入村した途端に時代が過去へとワープしたような風光明媚な所である。元々、7つあった村が合併してできた村で、ほぼそのままの状態で各村が残って構成されている。役場の担当の方が、「何でも7つ作らんといかんから大変ですわ」と苦笑しておられた。

さて、我々は、美杉村の過疎高齢化に歯止めをかける起爆剤として期待されている公営住宅、特に若者が定住できる若者住宅建設の構想を考えている。村民にアンケートやヒアリングを行いつつ、漸くプランが見えてきた段階である。調査してわかったことのひとつは、都会に住み慣れた人が美杉村で定住することは難しく、やはり美杉村出身者の転出をいかに食い止めるかが大事であるということである。また、狭隘で可住地が少ない上、村の構造が分散している美杉村のどの場所に住宅団地を用意すればよいかに、今、頭を悩ませている。8月中に研究の成果を提出しなければならず、少し焦りを覚えているが、この成果をまた何かの機会に紹介できればと思っている。

また、舟渡先生、笠嶋先生を中心に、堀内先生、光田先生、大東先生など多くの先生が取り組んでおられる都市基盤整備公団の「名古屋臨海東部まちづくり方策策定業務」という大事業については、次の機会にご報告します。

（文責　工学部都市環境デザイン学科　嶋田喜昭）

美杉村三多気の桜

美杉村持経若者住宅

「名古屋臨海東部まちづくり方策策定業務」
調査報告書

大学院博士課程の講義を特別公開

大同工業大学大学院は、産学連携共同センターと社会交流エクステンションセンターとスクラムを組んで、産業界との共同研究や、公開講座を通じて、近隣の企業に積極的に貢献できるよう努力している。そして今年4月から、博士課程が擁するそれぞれの分野の第一線で活躍する40名以上の教授陣の講義を特別に公開し、近隣の企業の方々に聴講していただくことにしました。

※日程／別表

回	開催日	講師	講座名
1	4月12日（土）	青山 正治 教授	鋳鉄橋から見た近代産業技術
2	4月19日（土）	松居 正夫 教授	地球環境と自動車の軽量化
3	4月26日（土）	岩田　晃 教授	インターネットの現状と将来
4	5月17日（土）	遠藤 敏夫 教授	鋼材のサーモビュア探傷
5	5月31日（土）	太田 福男 教授	鉄筋コンクリート構造物の寿命予測方法について
6	6月　7日（土）	小野 宗憲 教授	変形と破壊に及ぼす静水圧の影響について
7	6月14日（土）	事口 壽男 教授	鋼材のき裂進展挙動とJ積分による破壊力学
8	6月21日（土）	瀬尾 文彰 教授	都市環境の記号学
9	6月28日（土）	西堀 賢司 教授	ロボット工学の現状と未来
10	7月　5日（土）	舟渡 悦夫 教授	Introduction of Road safety audit
11	7月12日（土）	稲垣 卓造 教授	都市景観と色彩
12	7月19日（土）	堀内 将人 教授	環境汚染低減のための法体系とその問題点
13	7月26日（土）	山本 俊彦 教授	建築生産における環境負荷低減
14	8月　2日（土）	堀 美知郎 教授	固体高分子形燃料電池のスタック構造設計

インターンシップ活動、今年は活発化

短期インターンシップ、今年は42名が32社へ参加。

機械工学科・情報機械システム工学科と建築学科で短期インターンシップが単位として認定されることとなったこともあって、参加する学生が大幅に増え、就職や自分の将来への関心の高まりを示しています。

企業、公的研究機関での卒業研究に取り組む学生が、今年は50名に。

先生方の指導と薦めもあって、企業や公的研究機関で卒業研究に取り組む学生が50名を数え、今からその成果に期待が集まっています。

クラブの活躍

大同工大ハンドボール部、快挙!!
創部4年で東海リーグ第1部優勝達成!

5月18日日曜日、春日井市の中部大体育館に、大同工大の選手、監督、OB、教職員、そして大同特殊鋼ハンドボール関係者の歓喜の声が響き渡った。最終週に6戦全勝同士の宿敵対決となった2003東海学生ハンドボール春季リーグ戦で、大同工大は、過去4連覇、東海リーグで敵なしの中部大に29対25で見事逆転勝ち。創部4年目で一部リーグ初優勝の快挙を達成した。日刊スポーツ新聞も、「大同工大スピード初V!」の見出しで優勝を称えた。

今シーズンの最優秀選手には、板垣貴幸主将（4年）が、得点王には55点を挙げた草原智也（3年）選手が、またベストセブンには、板橋孝典（4年）、草原智也（3年）、久保宮大（2年）の3選手がそれぞれ選ばれ、大同工大には歴史的なシーズンとなった。

次は、8月15日から始まる西日本インターカレッジ、そして昨年ベストエイトに輝いた全日本インターカレッジ。大試合での活躍が今から楽しみだ。

優勝決定直後、喜び爆発!

教養部保健体育室 講師 **佐藤監督**

このたび、東海学生春季リーグ戦において、創部4年目で初優勝することができました。学生日本一を獲得すべく、5カ年計画を掲げて現在も順調に成果を揚げております。今後、全国的に飛躍するためには、更なるチームワークの確立が必要不可欠です。スター選手が存在しない我々のチームは、皆がプレイメーカーとなり、コートをところ狭しとスペースを探して動き回り、一人ひとりがシュートを狙いながら攻撃を継続（波状攻撃）していくスタイルを目指します。控えの選手を含めてチーム一丸で目標に突き進みます。

祝勝会

後列
左　佐藤監督
右　石倉部長
前列左から
久保宮大（2年）
板橋孝典（4年）
板垣貴幸（4年）
草原智也（3年）

中部大との熱戦

バレーボール部奮闘!一部リーグ6位!

東海大学男女バレーボールリーグ春季大会で、大同工大バレー部は1部リーグ6位（8大学中）で、下部リーグとの入れ替え戦なしで6位となった。

リーグ一巡（7試合）を終えた時点で1勝6敗、後半は不覚にも下位リーグでのスタートとなり、入替戦確実といわれた。それに奮起した大同工大、その後3連勝して（失セットわずか1）、6位をもぎ取った。

長身選手を揃える他大学に対して、よく善戦したともいえるが、今リーグ戦で見えた多くの課題に挑戦して、秋季大会ではさらに順位を上げることが期待される。

少人数ながら健闘!

陸上競技部

今年冬の名岐駅伝競走大会に初出場を果たし、17位で次回のシード権を獲得した陸上部。登録部員が9名しかいない中で、精力的に記録会に参加した。中でも6月8日、愛知県選手権名古屋支部予餞会で3000メートル障害に出場した1年生の道家崇文選手は、ハードルの練習設備がなくぶっつけ本番で出場し、自己新記録で見事5位に入賞、7月20日の愛知県選手権の出場資格を獲得した。その潜在能力の高さに期待がかかる。

「ダブルスカル」で、大同工大初優勝!

第35回 中部学生ボート選手権大会

石丸剛士君　安藤徹哉君

6月28日、29日の両日、西加茂郡東郷町の愛知池ボートコース（1000メートル）で開催された、第35回中部学生ボート選手権大会「ダブルスカル」に出場した、01J安藤徹哉君、01E石丸剛士君のペアが、見事初優勝の快挙を達成した。

28日の予選。出場12クルーの最高タイムで準決勝へ進出。29日の準決勝と決勝は、天気は晴れだが、強風のため波が高く最悪のコンディション。準決勝では、スタートミス、300メートルでのキャッチミスするも、残り300メートルで見事逆転、トップでゴール。

そして迎えた決勝。悪コンディションをものかは、スタートから快調に飛び出しトップに立ち、ゴールでは大きく水をあけて快勝、圧倒的な強さで初優勝。次の目標は、8月に開催される全日本学生選手権（インカレ）で、決勝に進むこと。

優勝 大同工大　2位 名大　3位 愛知教育大　4位 東海大

第4部優勝、入れ替え戦にも勝って3部昇格!

優勝決定!宙に舞う水野監督

硬式野球部、愛知大学野球春季リーグ戦

5月の連休に、勝ち点4で早々と優勝を決めた大同工大硬式野球部。最優秀選手（MVP）に01D076の小島吉幸選手、最優秀投手に00C112笠野守人選手がそれぞれ選ばれた。

6月初めに行われた東邦学園大との入れ替え戦。第1戦は適時打が出すエラーが重なって敗戦。第2戦は追いつ追われつのシーソーゲームの末勝ちを収めて1勝1敗。決勝の第3戦。大同工大の打棒が火を噴きリードを奪うも、東邦学園大もじりじり追い上げ、9回は一打同点の大ピンチ。それでも、笠野投手が踏ん張り連勝。第3部昇格を果たした。

水野監督によれば、大同工大は3年生主体のチーム、今後これらの経験が大いに生きて秋のシーズンにつながるという。秋のシーズン第3部での活躍に期待しよう。

DIT自動車3クラブで「もてぎカート耐久フェスティバル『K-TAI』」に挑む!

レーシングカート部 チームリーダー
伊藤邦彦君

今「K―TAI」（ケータイ）に燃えている学生がいる。レーシングカート部伊藤邦彦君。古いカートを買いとりスペシャルマシンに仕上げるべく、一心不乱にチューン・アップに取り組んでいる。その先には、栃木県の「ツインリンクもてぎ」のレーシングコースで、8月9日日曜日に開催されるカート7時間耐久レース「K-TAI」がある。

「K-TAI」は、抽選で150台のマシンしか出場できない年に一度の耐久レース。単に勝負を競うだけでなくバリエーションに富んだ自前のカートで走りを楽しむビッグレース。「K―TAI」出場をぜひPRしてほしいと山のような資料を持って当センターを訪れた伊藤君。その手はチューン・アップ中らしく、油にまみれた跡がある。

今回はレースでの健闘を祈るにとどめ、その結果は次号で!

YAMAHAから買ってきたお古のカート。

チューン・アップ中。（板金の最中）

完成したカート（目標）。80CCクラスのカート。時速180キロ出るという。

昨年の大会の模様。

大学祭 日曜日の栄、大同工大のパレードが人目を引く！

学園祭・仮装行列賑やかに

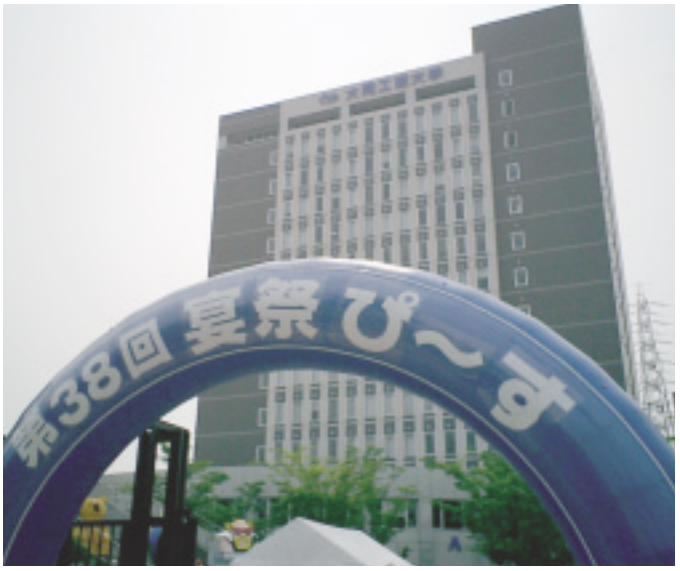
5月18日日曜日、大同工大生の奇抜なパレードが、賑わう栄の街を通り抜けた。栄の5月恒例行事となった大同工大「宴祭」の開幕を告げる「仮装行列」が、吹奏楽団が奏でるマーチを先頭に、音楽研究会はじめ6つのグループが、それぞれ工夫を凝らした「キャラクター神輿」を中心に、大学名とクラブ名を大声で叫びながら行進、街を行く人々の注目を引いた。同時に学園祭実行委員会のスタッフが一週間後に開催される「宴祭」のチラシを配布した。

パレードの参加したグループの中で審査の結果、音楽研究会（現役）が最優秀賞を受賞した。

学生、教職員、卒業生、地域、そして未来の大同工大生でキャンパス盛り上がる！

5月24,25日、第38回大同工大「宴祭」、好天に恵まれ華やかに開催！

名鉄大同町駅から滝春キャンパスまでの道路の両側に、黄色と黒の「大同工大宴祭」の幟が立ち並ぶ。正門には「第38回宴祭ピース」と書かれたエアーアーチが来訪者を出迎える。正門からゴビーホール前、野外ステージにかけて各クラブのブースが林立し、食べ物、飲み物はもちろん、パソコンゲームやロボット操作も楽しめる。実験棟2階の「キティちゃん」のエアーテントには子供たちの順番を待つ列ができている。講義棟の2、3階では、ロボットやパソコンに触れられるコーナー、各種展示、ライブハウス、そして入試相談室も設けられている。



キャンパスではぬいぐるみやチャイナドレスの女性（中には男）が闊歩し、参加者は思い思いにブースや部屋を訪れて好きなものを食べたり飲んだり、ゲームをしたり触ったりして楽しんでいる。総合大学のようにやたらと広いだけでまとまりのない学園祭と違って、パシッとまとまった無駄のない学園祭となった。

宴祭の最後を飾る後夜祭は、25日夕方から滝春グランドで始まった。

午後6時15分、大歓声に迎えられて「電撃ネットワーク」がステージに登場、テンポよく学生たちをのせながら、「放送禁止の奇芸」を繰り広げる。「さそりパクリ」、「ゴム手袋肺活量で破裂」、「鼻からミルクを飲み目から放出」、「バズーカ、クラッカー口内爆発」、「睾丸牽引力」など、息をつく暇もなく圧倒的なステージを、約50分にわたって展開した。

そのあとはダンスタイム。キャンプファイヤーに点火されたあと1時間にわたって若さを爆発させた。そして午後8時過ぎ、学園祭の終わりを惜しむように大花火がステージを覆い、学生たちはしばしの余韻に浸りながら、感動のうちに宴祭を打ち上げた。

元気の卒業生

1981年3月、建設工学科建築学専攻（当時）卒業

㈲アーキテクト・スタイル建築設計事務所
代表取締役
柴田 達志氏

テレビに出演中

昨年放送された日曜日夜8時からのABC・テレビ朝日系の人気番組「大改造!劇的ビフォーアフター」という家のリフォーム番組に「匠＝たくみ」として登場。知立市の廃業した銭湯を、生活の場としての家に生まれ変わらせる劇的なリフォームを成し遂げた。

この匠、柴田達志氏は、本学建築学科（現在）の卒業生。その貴重な体験を語ってもらおうと、去る5月12日、AAオープン講座の講師をお願いした。

「高校時代から本格的にバンドをやっていて、音楽の道に進もうと考えた時期もありました。でも今、建築の道に入ってよかったと心の底から実感しています。」AAオープン講座で、柴田氏はこう切り出した。以下は柴田氏の名言集。

「自分の方向について悩んでいたとき、『やってみりゃいいじゃん!』と背中を押してくれた当時の先生方にはホント感謝しています。」

「建築設計事務所に入り浸っていたら、知らない間にそこの仕事をしていました。」

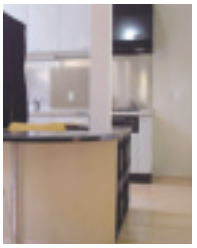
「建築も好きだけれど、それ以上に人との出会いが好きなのかも知れません。その人の生き方をサポートするような空間を創ること、その人の幸せな人生を探し出していくこと、それが設計だと思っています。」

「テレビに出て仕事や人脈が広がりました。しかしそれ以上に自分の視野が広がったことが大きな収穫です。建築設計にとどまるな、建築士としてだけでなく思想家として困難な問題に対処する、そんな自分が表現できるようになったと思います。」

聴講していた学生たちを大いに勇気づけた講演となった。

（2003年5月12日、本学B0401講義室でのAAオープン講座の講演から構成）

After（アフター） 銭湯をみごとにリフォーム。



AA オープン講座 AAセミナーの時間にユニークな公開講座開講

一般からも聴講あり。

指導教員と学生との触れ合いの場として1年生の前期に、毎週月曜日に設けられているAAセミナーの時間。今年はこれをさらに充実させるため、新たな試みとして学内、学外から多彩な講師を招いて、普段では聞けないユニークな講座、「AAオープン講座」を開講しました。

野田 清 氏　安ヶ平 博 氏　冨田 寛治 氏　澤岡 昭 学長　ブルクハルト 氏

下記のようなテーマでユニークな講演と質疑応答によって、初めての取り組みとしては成功裏に終えました。AAオープン講座は、本学のホームページでも告知し、実際に一般社会人からも聴講の申し込みがありました。社会交流エクステンションセンターでは、今後こういったユニークな公開講座を発展させたいと考えています。そのためのアドバイスをお待ちしています。

コロンビア号分解事故後の国際宇宙ステーション計画
私の大好きな宇宙飛行士

宇宙開発事業団 研究統括リーダー
大同工業大学学長
澤岡 昭

日本の製造業の現状と問題点
大同特殊鋼株式会社相談役／元大同特殊鋼株式会社会長
冨田 寛治 氏

Journey around the World
ボッシュ パッケージング テクノロジー株式会社　代表取締役社長
ギュンター・ブルクハルト 氏

建築デザイナーとして
ABC「大改造!!劇的ビフォーアフター」匠
㈲アーキテクト・スタイル代表取締役／本学OB
柴田 達志 氏

ナショナル選手として生き残るために
元全日本ハンドボールチーム監督／ミュンヘン・オリンピック選手
株式会社大同ライフサービス常務取締役
野田 清 氏

剣の道から学んだこと
剣道　教士7段／剣道世界大会（ブラジル）第3位
丸太運輸株式会社　常務取締役
安ヶ平 博 氏

東海地区産業界の動向
「英知と技術と位置」のキーワードでみる

大同工業大学 客員教授
元日刊工業新聞社名古屋支社論説委員兼編集委員
太田 幸一

建築・土木と法律の規制・住民との紛争
高橋太郎法律事務所弁護士
高橋 太郎 氏

障害者のトイレ内行動検証からバリアフリー、ユニバーサルデザインを考える
東陶株式会社
遠藤 譲 氏

メディアの裏を読む!
CMに騙されないために

大同工業大学 社会交流エクステンションセンター 副センター長
川戸 和英

学生のお気に入り

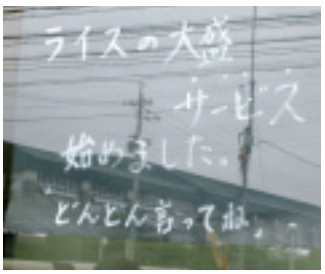
ママさんは大同工大生のおかあさん

ランチとコーヒー 茶夢（ちゃむ）

DITの滝春校舎と白水校舎の中間、校舎の東側の道に面して「茶夢」はある。カランカランとベルが鳴る入り口のドアを押して店内へ入ると、そう広くない喫茶店といった雰囲気とテーブル配置。「いらっしゃい」とママさんの大きな声が響く。その声は久本雅美によく似ている。

「この店は、大同工大の建築の卒業生に改造してもらったのです。もう40歳を越えていると思いますが、今も店に来てくれます」とうれしそうに語る。

ここから話はママさんが勝手に進行する。聞けば、昭和55年に家を建てたローンを支払うために、すぐ近所の大同工大白水校舎の食堂でパートとして働き始めたことが、大同工大との付き合いの始まり。その後滝春校舎のG棟の食堂に移り、8年後に子供さんが私学に進学したために高い学費を稼ぐため学食のパートをやめ、一旦は会社勤めを始めた。ある日の勤め帰りに、今の店の権利が売りに出ていることを知り、自分で「茶夢」を開くことを即決。ご主人を強引に口説いて500万円の開店資金を出してもらって、平成7年9月に「茶夢」開店。「茶夢」という名前も、開店資金のお願いをしたとき「無茶だ!」というご主人の第一声から、それを逆にして「ちゃむ=茶夢」と名づけたそうだ。

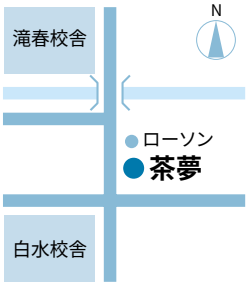


「昔の学生さんは、正直いって今ほど頭はよくなかったけれど、社会に出たら何かやってくれそうな雰囲気を持つ学生さんが多かった。今の学生さんは、賢そうだけど、人や世間と会話が出来ないみたいね。これ、就職の時損だよ。」「ハンドボール部の選手のように、目標を持っている学生さんはいいね。しごかれて強くなる。」

「最近の若い人は食べることに意欲がないな」と嘆く。普通喫茶店がキャッチコピーに「コーヒーとランチ」というところをわざわざ「ランチとコーヒー」と逆にしたのは、手作りの家庭料理を学生さんに食べてもらいたいという一心から。もう喫茶店のママというより「学生のお母さん」だ。就職面接の前に店に立ち寄りママにアドバイスをもらってから面接に行き内定を勝ち得た学生もいるとか。

「長い間大同工大と学生さんとはお付き合いしていただいたし、私の子供たちが大学進学を当然のことと受け入れてくれたのもそのおかげです。パワーのある学生さんに会うと嬉しくなる。ここ数年の大同工大生はいい。楽しみだ」という。いわば『大同工大生のおかあさん』のような人だ。学祭のマージャン大会では毎年「茶夢のママ」の名札を付けて参戦する。毎年上位入賞の常連だが、今年は振るわなかったとか。そういえば、「大同工大のおかあさん」の本名を聞くのを忘れた。

茶夢定食／680円



編集部より **おいしいグルメ情報募集**
社会交流エクステンションセンターまで連絡ください。

開かれた大学

日本宇宙少年団名古屋支部の今年度支部活動総会

本学A棟14Fラウンジで開催。

　澤岡昭学長が宇宙開発事業団研究統括リーダーを務められている関係で、子供たちに宇宙への夢を育ててもらおうと、本学は日本宇宙少年団の活動を支援してきました。
　日本宇宙少年団本部団長は、宇宙飛行士の毛利衛さん、財団法人日本宇宙少年団の理事長は、松本零士さんがそれぞれ務められています。
　このたび、6月22日の日曜日、日本宇宙少年団名古屋支部の平成15年度支部活動総会を、A棟14Fラウンジ、および交流室で行いました。森田名古屋支部長の司会で総会が行われ、名古屋支部南分団長を務める本学の水野義雄教授が、「酔い」をテーマに、少年たちの親御さんにわかりやすい講演をされました。
　また子供たちは、中・高生のリーダーたちの指導でゲームを楽しんだほか、今年12月の飛行機製作に向けて、一生懸命計画を立てていました。

社会へ、地域へ、英知の提供！DIT公開講座が目白押し！

DITでは、本学の多彩な教授陣とその豊かな英知を社会や地域に提供しようと、様々な公開講座に積極的に取り組んでいます。こうした有益な公開講座を通して社会や地域と交流を深め、DITの理念と存在意義について深く認識してもらうことを目指します。

大同工業大学社会交流エクステンションセンター
名古屋市南区まちづくり推進事業部

連携公開講座「親子ものづくり教室」（申し込み受付中）

開催日時／平成15年8月24日（日）
　午前の部 9:00～12:00　午後の部 13:00～16:00
開催場所／大同工業大学　B棟学生ホール　D棟創造製作センター
対　　象／東海地区の小学4年生～6年生までの親子ペア
コース名と講師・申込定員／応募者多数の場合は抽選　申込締切りは8月18日（月）必着分

①本格派!アルミでつくるオリジナル置物	機械工学科・青山正治教授	ペア10組20名
②「銅版」をたたいて作るミニ小物	機械工学科・青山正治教授	ペア15組30名
③理科実験「電気振り子」をつくってみよう	情報学科・愛知久史助教授	ペア15組30名
④竹でつくるお茶目な「トンボがえる」	未定	ペア10組20名

参 加 料／300円（当日会場にて徴収）
申し込み・問い合わせ／大同工業大学社会交流エクステンションセンター事務室
〒457-8530 名古屋市南区滝春町10番地3
TEL 052-612-6209　FAX 052-612-5623
E-Mail:ext@daido-it.ac.jp

その他予定中の公開講座

●機械製図「図面の見方・読み方」
　情報機械システム工学科　近藤巌教授
　社会人対象／10月
●パソコン教室「年賀状の作り方」
　名古屋市南生涯学習センター共催講座
　情報機械システム工学科　松浦章裕助教授
　小学校PTA（指定）／11月
●名古屋市生涯学習推進センターとの連携講座
「数学点景―数学って何やってるの？」
　教養部数学教室　成田淳一郎助教授
　社会人対象／12月

卒業後の進路

すぐやってくる将来のために…

新入生「自己発見シート」今年初めて実施。

新入生「自己発見シート」を学生、教員ともに生かそう!!

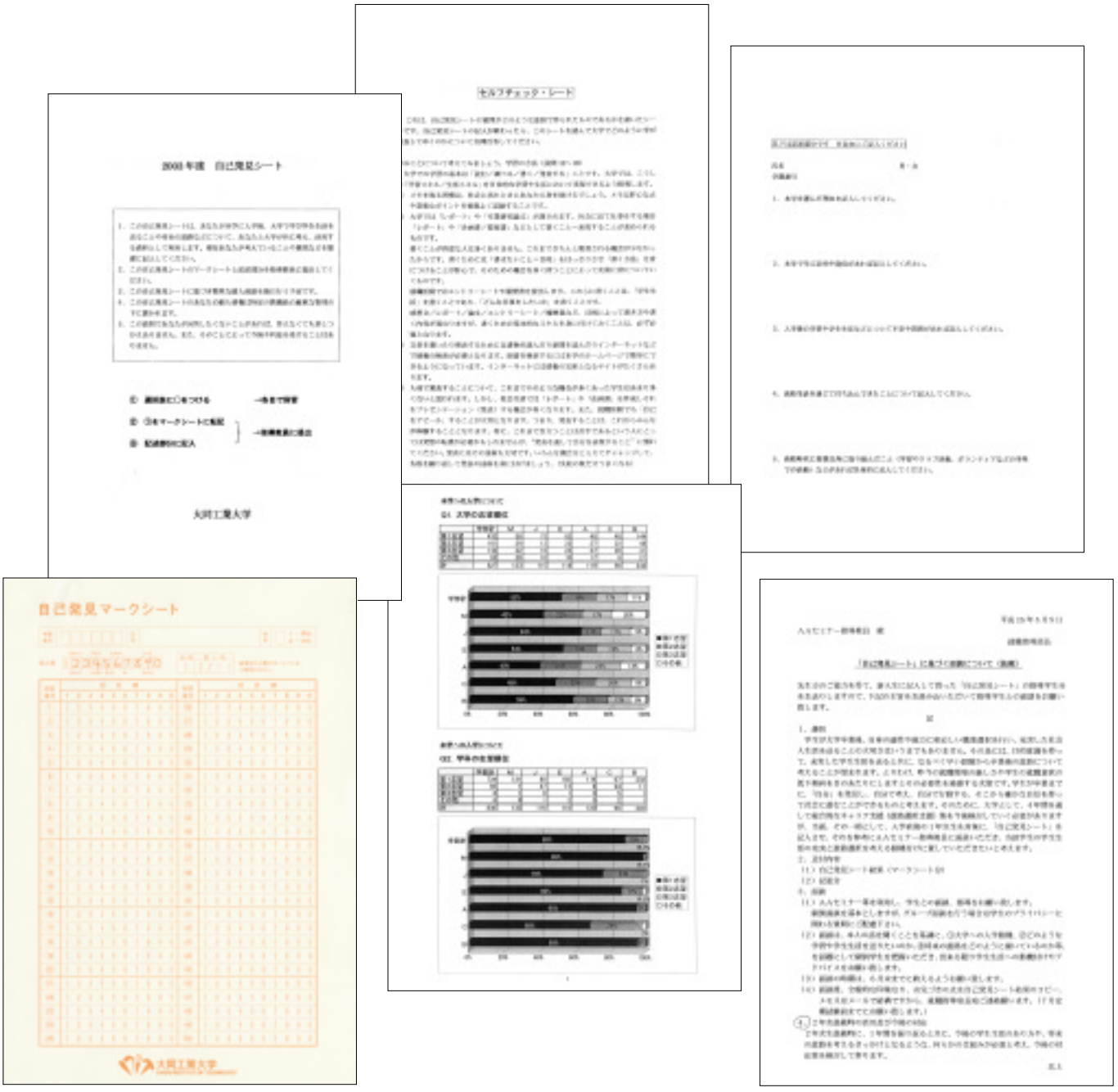
学生が大学卒業後、自分の適性に相応しい職業選択を行うためには、なるべく早いうちから卒業後の進路を考え展望を確立して充実した学生生活を送ることが不可欠です。まして昨今の就職環境の厳しさや、学生の就職意欲の低下を目の当たりにすれば、その必要性を痛感します。学生が「自分」を発見し、自分で考え、自分で行動することで、将来社会へ自信を持って進むことができます。

その一助として、入学直後の1年生を対象に、「自己発見シート」に記入させ、それをもとにAAセミナーで指導教員が新入学生個人と面談して、当該学生の学生生活の充実と進路選択を考える動機付けにしてもらえるようにと、初めてこの取り組みを実施しました。この「自己発見シート」は、学生の個別指導に大いに役立つツールとなります。

課題もあります

澤岡学長が常々言われる「面倒見のよい大学」となるためには、入学から卒業まで、学生たちと指導教員とが親密なコミュニケーションを取れる状態を作る必要があります。「自己発見シート」は、学生と教員のコミュニケーションを深めるための重要なツールとなります。

但し、1年生を終えて2年生から、3年生の前期一杯までは、今の教育システムでいう限り、学生と指導教員と触れ合う機会が極端に減ります。もちろん学生たちの興味が変わって、1年次の指導教員が彼らに相応しくなくなることも十分考えられるとはいえ、3年後期のセミナーが始まるまでの間に、「学生と指導教員の接触機会が希薄になる」ことをどう克服するかは大きな課題です。学生と教員、大学が親密な関係を作り上げることが重要です。



学内

企業説明会開催

参加企業・参加学生とも、昨年より１０％伸びる！

今年も6月9日～１３日の４日間、学内企業説明会が本学図書館4階で開催された。今年の参加企業は１０６社。昨年は９４社だったから、１０％強の伸び。参加した学生はのべ５５７名。昨年は４２８名だから２０％強の伸び。

ところで、本学への求人は、6月末現在で昨年比9％アップしている。その背景としてはおそらく次のことがあげられる。ひとつは、今まで企業が採用学生を絞ってきたこととリストラの進行によって、企業内人口構成に歪みが出ていることを修正する必要が出てきたこと。いまひとつは、景気が底を打ったという感じが少し見受けられること。

ただし、メーカー企業は増えてはいるものの、建設系の求人は厳しい状況が続いている。今回の企業説明会でも、建設系企業は１０６社中２０社だった。

本学の就職指導室では、８００社にアンケートを発送して求人意欲を開発するよう鋭意努力しているが、「名古屋の学生は、関東、関西と比べてのんびりしているのが歯がゆい」とは、就職指導室、信耕室長。6月末現在の就職内定率は約３０％で、昨年」並みに推移している。因みにこれは、名城大、中部大、愛工大とほぼ同水準で推移していることを示している。

DITのトコトン先生たち

澤岡学長、シンポジウムのパネラーに!

4月17日、科学振興事業団が主催した、「東海地方における科学技術の現状と将来、科学技術について私学のトップに聞く」という講演・シンポジウムに、本学澤岡昭学長が、名城大、中部大の各学長とともに出席された。

名城大、中部大の学長がそれぞれベンチャービジネスを支援する教育プログラムを設置したことをPRされたのに対し、澤岡学長は、安易なベンチャー支援の掛け声で学生を鼓舞することを戒め、むしろ学生たちに足が地に付いた夢の育成を助けるような教育システムこそ、製造業集積地の名古屋にある大学に相応しいと力説、自らの宇宙への夢を語られた。

休憩後のパネルディスカッションでは、産学連携のあり方について議論が展開された。ここでも澤岡学長は、まず本学の「授業憲章」をとりあげ、まずは教育の充実に努めるべきで、産学連携も教育あってのものであると述べられた。

電気電子工学科・佐藤義久教授、平成15年度電気学会「著作賞」受賞

「図説・電力システム工学　電気をつくる・送る・ためる」という先生の著作が、電気学会総会で、平成15年度「電気学術振興賞・著作賞」を受賞された。電子電気学会の著作賞は、昨年まで2年間受賞該当著作がなかったことから、佐藤先生の受賞は、同学会では3年ぶりの快挙となる。

本書は、資源エネルギー論から説き起こし、水力発電、火力発電、原子力発電から、風力発電、バイオマス発電などの再生可能エネルギーまでを、図表を用いて分かり易く解説、更に最新の核融合、超電導までを網羅する電力システム工学の解説書。

なお、7月17日、先生のご専門の風力発電実験装置が、滝春校舎の正門内側に設置された。風力で発電した電気による携帯電話の充電はじめ、多くの実験が行われる予定。

建築学科・笠嶋 泰教授、愛知県「エコ住宅ガイドライン」発刊で重責果たす。

愛知県建設部住宅企画課がこのほど発刊した「あいちエコ住宅ガイドライン（資料編含む2冊）」と「住まいの快適住宅情報・知ってよかった住まいの知識」の編集に、笠嶋先生は策定委員会委員と、専門部会の統括部会長を勤められた。

平均気温が年々上昇し、相対湿度が下降して、家庭の電気・ガスエネルギー消費量も増加している中で、愛知県は、温和な愛知の気候風土を生かした地球と人にやさしい「あいちエコ住宅ガイドライン」を纏めた。

これら合計3冊の冊子で、「あいちエコ住宅」建築に必要な全ての情報が簡潔に網羅されている。「ここで強調していることは、『あいちエコ住宅』を近隣の人々と共同でつくりあげようということ」と先生。地元で新時代住宅を建てたい人の入門書であるこの3冊の冊子、年間愛知県の住宅建築個数が6万戸であることから、6万部発刊したそうだ。

電気電子工学科・堀尾吉已教授、大著出版に参加

「２１世紀版　薄膜作製応用ハンドブック」（權田俊一　監修、B５版１３３０ページ、定価６５.０００円）という大著が出版されたが、堀尾先生はその第3編、第2章、第4節の執筆を担当されている。

本書は薄膜技術および評価技術が広い分野の各種産業に役立つように分かりやすく解説されているが、先生の担当されたのは、薄膜分析・評価対象論の中の「結晶性」について、電子の波長、電子回折理論、RHEED図形による薄膜結晶の評価を論じられている。

大下一政教授と酒井陽一教授、新刊書出版

そのタイトルは、「ベーシック分析化学実験　―環境理解へのツール―」。大同工大はじめ、中部大、人間環境大、豊橋技科大で行われている実際の教育内容を盛り込んでいる。

「環境の世紀といわれる２１世紀。環境問題に取り組む手法としての分析化学の基本原理と操作を習得できることに力点をおいて、わかりやすい実験教科書を目指した」と両先生。

電気電子工学科・西村政信講師、照明普及賞・照明普及功労賞受賞！

本学の電気電子工学科・西村正信講師が、照明学会から照明普及賞・照明普及功労賞を受賞された。先生は、国内外の照明学術誌に多数研究成果を報告される一方で、スクーリングや講演会、研修会を通じて照明普及活動を精力的に展開され、また平成１４年には照明学会全国大会実行委員も務められた。これらの長年にわたる先生の功労が評価されてこの度の受賞となった。

講義室便り　レゴロボット競技会『自立走行型トレジャーハンターII』

6月26日（木）3,4時限（西堀先生）と、7月2日（水）1,2時限（大嶋先生）の2回にわたって、情報機械システム工学科恒例の、2年生前期、創造製作実習「レゴロボット競技会」が開催された。

1チーム3人が、自分で動くロボットを製作し、プログラムによって制限時間内に、フィールドの外から中に入り、あちこちに置かれているピンポン球を集め、フィールドから出てスタート位置に戻るという競技。もちろんリモコン操作は不可。それぞれのピンポン球には得点がつけられていて、自足走行型ロボット（トレジャーハンター）が集めたピンポン球の総合点を競う。

各チームがどこにあるピンポン球をどう取るかの戦略をたて、プログラムを作って、ロボットをデザインして本番に臨む。5週間で本番に臨んだロボットたち。うまくピンポン球を取って高得点をマークしたロボットもあれば、せっかく取ったピンポン球を最後に手放してしまうロボット、颯爽とフィールドに入ったものの何もせずにすぐフィールドから出てしまったロボットなど、会場は拍手と爆笑に包まれた。

情報機械システム工学科
「創造設計製作実習」（2年前期）
西堀賢司教授、大嶋和彦助教授

後援会報告

平成15年度後援会定期総会は、4月27日（日）、ゴビ-ホールで開催されました。当日は165名のご父母が出席され、新旧役員の交代や平成15年度事業議案などが提案どおり承認されました。

また当日は、澤岡学長の講演や希望されたご父母対象の個人面談も行われました。

各地域で開催される教育懇談会は、下記の日程で開催しますので、ぜひご出席ください。

平成15年度 大同工業大学教育懇談会日程表

月日	曜	開催時間	地区	会場名	所在地
9.23	祝	10:30−15:00	三　重	フレックスホテル	松 阪 市
	火	10:30−15:00	西日本	第一イン岡山	岡 山 市
9.27	土	10:30−15:00	長　野	ホテルブエナビスタ	松 本 市
		10:30−15:00	三　河	ホテルアソシア豊橋	豊 橋 市
		10:30−15:00	近　畿	ホテルサンルート彦根	彦 根 市
10.4	土	10:30−15:00	岐　阜	グラン・パレ・ホテル	岐 阜 市
10.5	日	10:30−15:00	静　岡	浜松名鉄ホテル	浜 松 市
10.18	土	10:30−15:00	北　陸	ホテルイン金沢	金 沢 市
10.25	土	10:00−15:00	尾　張	ホテルグランコート名古屋	名古屋市

人事

■昇任／平成15年5月1日付

教養部保健体育室講師　佐藤壮一郎

■役職就任／平成15年5月1日付

学長補佐　上田英靖 [教授]（平成15年5月1日～平成15年9月30日）

入試部次長　大嶋和彦 [助教授]（平成15年5月1日～平成16年4月30日）

■採用／平成15年7月1日付

●法人本部（専任事務職員）

川竹敬三　法人本部総務部長（部長待遇）兼経営企画本部副本部長兼学長付兼校長付

今井健一　経営企画本部副本部長（部長待遇）兼大学事務部主席部員

■役職就任／平成15年7月1日付

●大学（客員教授）

委嘱期間／平成15年7月1日～平成16年3月31日）

市野博重

学生室、クリーンキャンペーン展開

6月、本学キャンパスと本学から名鉄大同町駅までの道路を、先生と学生たちが一斉にゴミ拾いを実施した。これは、昨年12月の教授会で採択された『学生のマナー・モード向上の宣言』ー大同工業大学は、学生のマナー・モラルの向上に全学的に取り組むーに基づき、学生委員会が企画した運動で、名づけて「クリーンキャンペーン」。6月1ヶ月間、AAセミナーを利用して、工学部16のAAセミナーの先生と学生たちがゴミ拾いの奉仕活動に参加した。

さらに、大学職員の参加による「昼休み30分クリーンキャンペーン」も毎週展開されている。

また、4月より、学生室と学生会共同で、滝春校舎と大同町駅間の道路に大同工大生のマナー向上の決意を表す2種類の幟がはためき続けている。全学あげての「マナー向上運動」や「クリーンキャンペーン」の拡大が期待される。

編集後記

1 本号から新編集体制により発行することになりました。これを機会に紙面を大幅に改訂することにしました。もとより Daido Campus は、本学教職員、学生とそのご父母宛てに発行する広報誌ですから、できるだけ多くの本学関係者の皆様にご協力とご参加をいただいて編集・発行することが基本だと考えています。

2 しかしながら、今回は新体制発足間もないことから、できるだけ多くの皆様に情報発掘から編集までご参加いただく体制づくりができませんでした。そのため、結果として基本どおりに編集ができず、社会交流エクステンションセンター主導で編集・発行を進めざるを得なかったことをまずお詫びします。その中でも快く取材にご協力いただきました皆様には御礼申し上げます。

3 本号から新しく連載特集をスタートさせました。「大同工大に期待する」、「元気印の卒業生」、「学生お気に入りのグルメ」などです。外部の方々に本学を語っていただくことで、本学の違った姿を浮き上がらせるのが目的です。今後はさらにこの企画を充実させたいと考えています。

4 本号は、本学のハンドボール部の東海地区一部リーグでの「スピード初優勝」はじめ、運動クラブが好成績を収めたこと、大学祭「宴祭ピース」が盛り上がったことなど、さながら「学生の活躍号」となりました。これらの快挙が本学発展のための「起爆剤」となることを期待しています。

Daido-Campus特派員募集

編集部では、本誌の特派員を募集しています。多くの特派員の皆様から大同工大関係の情報を広く発掘し、本誌を豊かにするためです。教職員、学生はもちろん、ご父母の方でも大歓迎です。

お問い合わせは、編集部＝社会交流エクステンションセンター（下記の電話、Fax、E-mail）まで。

次をつくる人をつくる 大同工業大学 DAIDO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

Daido Campus―大同工大キャンパス　No.45　2003年7月25日発行（季刊）
編集・発行:大同工業大学社会交流エクステンションセンター　〒457−8530　名古屋市南区滝春町10−3　TEL 052-612-6209　Fax 052-612-5623
E-mail ext@daido-it.ac.jp　URL http://www.daido-it.ac.jp